

BIS 論壇 No.302 『第 2 回中国国際輸入博覧会について』 中川十郎 11 月 10 日

中国の国家レベルの意欲的な国際輸入博覧会は、昨年 の第 1 回博覧会では 578 億ドルの成約で成功裏に終了し、中国の輸入努力が高く評価された、

本年の第 2 回輸入博覧会は 150 か国・地域から、3900 社が参加。開幕式にはフランスのマクロン大統領も参加した。

米中摩擦に揺れる米国は本年 190 社が出展。昨年 の 180 社を上回った。展示スペースも、ドイツや、日本を超えた。しかし昨年同様、米国は開幕式への高官派遣を見送った。これは米中貿易戦争も影響しているとみられる。

昨年、習主席は今後 15 年間のモノとサービスの輸入が 40 兆ドル(4300 兆円)を超えるを見通しを述べた、

本年の輸入博には省、自治区、市などから 600 のサブ貿易代表団、39 の国内貿易代表団など中国各地から 50 万人を超すバイヤーが訪れ、成約が増える見込みである。

英国の Brexit、さらに米国のアメリカファースト、米中貿易戦争などで欧米の経済の先行きが危ぶまれる中、中国が国家レベルで特に商品、農業、ヘルスケア分野などでの輸入拡大に努力することは世界経済上意義あることである。

インドの RCEP (東アジア包括的経済連携—ASEAN+豪州、NZ、韓国、中国、日本、インドの 16 カ国)からの脱退宣言でアジアにおける関税低減による貿易の拡大にブレーキがかかる状況の中、中国の輸入拡大努力は世界経済上大きな意義のあることで、その成功を祈念したい。

かつて日本は中国の広州見本市に参加し、中国との貿易拡大に努力した経緯がある。中国は ASEAN との貿易拡大に毎年、南寧で ASEAN 見本市を開催。

また一帯一路とも関連し近年は東欧諸国、アフリカ、南太平洋、カリブ諸国、南米とも貿易拡大を通じて、人類運命共同体発展に努力を傾注していることを高く評価したい。

習 主席のリーダーシップの下、一帯一路とともに中国国際輸入博覧会が本年も成果をあげたことを評価したい。この中国国際輸入博覧会は毎年、上海で開催される。今後とも日本企業が積極的に参加することを希望する次第である。